

令和元年度 学校評価アンケートの集計結果と考察

No	質問項目		パーセント (%)				数 (人)			
			大変当てはまる	該当してはまる	やや当てはまる	全く当てはまる	大変当てはまる	該当してはまる	やや当てはまる	全く当てはまる
1	四中は、教育目標や学校の様子をわかりやすく伝えている。	生徒	19%	65%	12%	2%	85	283	52	10
		保護者	8%	63%	19%	1%	32	233	71	6
2	目標をもち学校生活を送っている。	生徒	27%	54%	14%	3%	118	233	61	15
		保護者	7%	52%	29%	4%	26	193	110	16
3	授業をわかりやすいと感じている。	生徒	17%	61%	16%	2%	76	263	72	12
		保護者	2%	40%	39%	5%	9	150	146	20
4	先生は、生徒の能力や努力を適切・公平に評価している。	生徒	25%	50%	19%	4%	108	216	83	21
		保護者	9%	59%	20%	2%	34	219	75	10
5	四中は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	生徒	36%	43%	13%	4%	159	188	60	20
		保護者	10%	57%	15%	2%	39	211	58	8
6	四中は、学校行事に積極的に取り組んでいる。	生徒	49%	40%	7%	1%	211	176	32	7
		保護者	17%	69%	7%	1%	65	256	28	2
7	四中は、部活動に積極的に取り組んでいる。	生徒	45%	40%	10%	2%	194	173	47	11
		保護者	18%	56%	18%	1%	69	209	69	6
8	四中は、将来の進路や職業に対し、適切な指導を行っている。	生徒	35%	53%	7%	2%	152	232	34	9
		保護者	8%	51%	19%	2%	31	190	70	10
9	四中は、学力向上に積極的に取り組んでいる。	生徒	27%	55%	13%	1%	120	239	59	8
		保護者	4%	43%	33%	5%	16	158	123	20
10	この1年間（4月～）で、自分は学習面（意欲、家庭学習時間 等）で成長したと感じる。	生徒	34%	45%	15%	4%	150	196	65	18
		保護者	13%	40%	32%	7%	49	150	120	29
11	この1年間（4月～）で、自分は生活面（あいさつ、時間やルールを守る、等）で成長したと感じる。	生徒	40%	46%	10%	3%	172	200	44	13
		保護者	11%	51%	28%	4%	43	188	105	15

※「よくわからない」という回答の割合・人数は外してあります。保護者の方の御回答のパーセンテージ合計値は100%にはなっておりません。

アンケートから得られた実態を見つめ、生徒一人ひとりが着実に成長していくことができるよう、教職員一丸となって今後の指導に当たってまいります。お子様の様子や学校の取組等に関して、気になることがございましたら、遠慮なく御連絡をいただければ幸いです。これからも、本校への御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

◆生徒・保護者共に肯定的な意見（「当てはまる・やや当てはまる」の合計70%以上）が多かった質問

- ①教育目標や学校の様子をわかりやすく伝えている。
- ⑥学校行事に積極的に取り組んでいる。
- ⑦部活動に積極的に取り組んでいる。

生徒で見ると、どの質問も肯定的な意見は70%以上となっています。上記の質問については、保護者の方の肯定的な意見と重なるものでした。働き方改革や部活動ガイドラインの動きもある中で、子どもの成長にとって必要か否か、また適度であるかを改めて問いつつ、学校行事や部活動等の見直しも進めているところです。

◆生徒・保護者共に否定的な意見（「あまり当てはまらない・全く当てはまらない」の合計）が多かった質問

- ②目標をもち学校生活を送っている。
- ③授業をわかりやすいと感じている。
- ④先生は、生徒の能力や努力を適切・公平に評価している。
- ⑩この1年間（4月～）で、自分は学習面（意欲・家庭学習時間等）で成長したと感じる。

否定的な意見としての回答を見ていく中で、ポイントとなることは「個々へのアプローチ」そして「学力向上」であると考えます。授業を含めて学校生活のあらゆる場で、生徒が目標をもつために教師から積極的なコミュニケーションを図るとともに、生徒一人ひとりの活動への働きかけを大切にしていきたいです。そこから教師と生徒の関係の深まりとともに、前向きな学校生活へとつなげていきたいと思えます。そのような取組の延長線上に「学力向上」があると信じています。わかりやすい授業とその成果の可視化を実現していき、学習に対する生徒の前向きな姿勢をつくりだしていきたいと思えます。

◆評価に生徒・保護者に差が見られた質問

- ⑧四中は、将来の進路や職業に対し、適切な指導を行っている。
- ⑨四中は、学力向上に積極的に取り組んでいる。
- ⑩この1年間（4月～）で、自分は生活面（あいさつ、時間やルールを守る、等）で成長したと感じる。

また、「キャリア教育」での学びが新たな学習や生活への意欲化に繋がる場面に出会うことは良くあります。これから「キャリアパスポート」の取組も始まりますが、個々のキャリア教育での学びの繋がりを一層意識していきたいと考えます。また情報化の進展の中、Society 5.0の社会が考えられ始めている今、人とのつながりを大切にできる社会性の向上も重要な課題であるので、基本的な生活習慣についても大切に指導していきます。